## 就任のごあいさつ

社会福祉法人　越谷市社会福祉協議会　会長
**鈴木俊昭**

市民の皆様には、日頃より当協議会の運営ならびに地域福祉の推進に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、私は6月27日の理事会において、新たに会長に就任いたしました。改めてその使命の大きさと責任の重さを痛感しております。

さて、少子高齢化の進展や人口減少社会、多様化する地域の福祉課題に的確に対応していくためには、当協議会として果たすべき役割はますます重要になるものと考えております。誰もが住み慣れた地域において、健康で安心して生活できる地域社会を目指し、役職員が一丸となって地域福祉のさらなる充実と活性化に向け取り組んでまいりますので、市民の皆様には、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げまして、就任のごあいさつとさせていただきます。

## 退任のごあいさつ

社会福祉法人　越谷市社会福祉協議会　前会長
**杉本昭彦**

このたび、6月27日の任期満了をもちまして、10年6か月間務めた、会長を退任いたしました。

在任中は、公私ともに格別のご厚情とご指導を賜り、誠にありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

今後とも、微力ではございますが、地域の一員として社会福祉の推進に努めてまいりたいと存じますので、変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げ、退任のごあいさつといたします。

## 越谷市社会福祉協議会　埼玉県共同募金会越谷市支会
# 理事・監事・評議員就任報告

理事・監事・評議員の任期が令和７年６月27日で満了となったことに伴い、新たな理事・監事・評議員が選任されましたのでご報告いたします。
※◎会長および支会長、○副会長および副支会長、□常務理事、（　）内は選出区分
（順不同・敬称略）

**理　事　15人**

◎鈴木俊昭（学識経験者）
○深井晃（自治会連合会）
○齊藤峰雄（民生委員・児童委員協議会）
□永福徹（学識経験者）
菊地貴光（市議会）
小田大作（福祉行政職員）
堀井捷一郎（自治会連合会）
新坂喜助（自治会連合会）
松本實（社会福祉施設）
中尾葉子（社会福祉施設）
会田眞理子（ボランティア連絡会）
佐藤達也（商工会）
中澤伸浩（学識経験者）
保科寧子（学識経験者）
大島隆代（学識経験者）

**監　事　2人**

爲ケ谷喜一郎（実務経験者）
永野雄一（学識経験者）

**評議員　31人**

小林豊代子（市議会）
大野恭子（市議会）
大熊宏昌（福祉行政職員）
川村耕治（地区連合自治会）
宮崎幸次（地区連合自治会）
塗木毅（地区連合自治会）
関根久治（地区連合自治会）
浅見昭一（地区連合自治会）
岩男義明（地区連合自治会）
筒野貞夫（地区連合自治会）
幸田勉（地区連合自治会）
中村孝介（地区連合自治会）
林田俊介（地区連合自治会）
吉野房子（民生委員・児童委員協議会）
黒田幸英（民生委員・児童委員協議会）
中山和子（民生委員・児童委員協議会）
後藤一平（民生委員・児童委員協議会）
井橋興蔵（社会福祉施設）
戸田充（社会福祉施設）
會田修（教育行政職員）
十川玲子（ボランティア連絡会）
吉田香代（ボランティア連絡会）
吉敷富江（ボランティア連絡会）
宮川稔一（農業協同組合）
塚田みな子（福祉団体）
北山隆司（福祉団体）
小池康治（福祉団体）
髙橋修（医療関係団体）
吉田将光（学識経験者）
田井玲子（学識経験者）
九ノ里幸子（学識経験者）

# 令和６年度　事業報告

〈重点施策〉

### 1　地域における福祉の基盤づくりの推進

地域共生社会の実現に向けた地域福祉活動を推進するため、地域の見守りサポーターである福祉推進員の養成や研修を行うとともに、住民相互の協力で行われるふれあいサロン等の立ち上げ相談、運営支援に対応し、活動の充実・定着に努めました。

また、複雑化・複合化した支援ニーズに対し、多機関が連携するための支援会議を開催し、支援が円滑に進むよう調整役を担い、課題を抱えながらも支援が届いてない方に必要な支援が届くよう、継続的な伴走支援を行いました。

さらに、包括的な支援体制の構築を進めながら、生活支援体制の整備に向けて、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）が調整役となり、住民主体による支え合い活動等の取り組み支援を行いました。

### 2　地域における支え合い、助け合い活動の推進

住民相互の助け合いにより、日常生活に支障のある高齢者世帯や子育て世帯等に家事支援を行う、ほほえみサービス事業では、地域包括支援センター等と連携し、掃除、調理、洗濯のほか、話し相手等の住民ニーズにきめ細かく対応した事業を展開しました。

また、ファミリー・サポート・センター事業では、提供会員になるための初期研修会やステップアップ研修会を開催し、サービス提供体制の充実を図り、利用会員と提供会員の会員間による子育ての援助活動を支援することにより、全ての利用者が安心して子育てできる環境づくりに努めました。

さらに、地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメント業務や高齢者の実態把握、虐待への対応を含む総合相談に応じるとともに、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、インフォーマルサービス等の様々な社会資源が、有機的に連携することができるよう、関係機関や地域住民との関係強化を図りました。

### 3　福祉教育の充実とボランティア活動の推進

福祉教育を推進するため、児童・生徒を含めた住民に対して、「我が事」の意識を醸成し地域福祉への関心を促し、市内小中学校や地域等で実施しやすいメニュー作りをすすめ、福祉体験学習の充実に努めました。

また、ボランティア活動への理解と参加の促進を図るため、社協だよりやホームページ、メール配信等を活用したボランティア情報配信や各種ボランティア講座を開催しました。

さらに、大規模災害に備え、地区ごとに開催される防災訓練に積極的に参加し、災害ボランティアセンターの役割や参加、利用方法について周知をしました。併せて、災害ボランティア登録者制度のＰＲを行い、登録者の拡充に努めました。

### 4　相談支援体制や権利擁護事業の充実

総合福祉相談は、単身高齢者をはじめ、障がいのある方、ひとり親家庭の方等からの、生活困窮、近隣トラブル、身元保証等の様々な相談に応じ、情報の提供や専門機関、福祉サービスにつなげるとともに、重層的支援体制整備事業等との連携により相談支援体制の充実を図り、一人ひとりに寄り添いながら事業を推進しました。

また、成年後見センターでは、成年後見制度の普及、啓発、個別相談への対応、申立て手続き支援、市民後見人の活動支援、法人後見事業のほか、地域連携ネットワークの中核機関として、早期の段階で専門機関が関与できるケース検討会議や、専門職団体等が連携し、地域課題を継続的に協議するための協議会を開催しました。

さらに、頼れる親族がいない一人暮らし高齢者等が安心して地域で暮らすことができるよう、みまもり・あんしん事業を実施し、見守りや急な入院時の支援、死後事務手続き等の援助を行いました。

### 5　介護サービス事業の充実と健全経営

利用者の自立支援・重度化防止のため、個別の支援検討を適宜行い、職員間で利用者の状況やサービス提供内容等を共有するとともに、計画的に職員研修等を実施することにより質の高いサービス提供に努めました。

また、国の制度改正等に注視し、安全かつ適切なサービスの提供が行えるよう、人材の確保に努めるとともに、事業活動にあたり効率性・経済性を意識しながら、関係機関や地域住民等と連携を図り、健全な経営に努めました。

### 6　地域福祉活動推進のための運営基盤の強化

包括的な支援を必要とする支援困難者が増加する中、職員が課題解決に向けて適切に導くことができるよう、職場内外の研修や部署間横断の事例検討等を通じて職員の育成と組織力の向上に努めました。

また、地域福祉活動を継続的に推進するための財政基盤強化のため、本協議会の事業を社協だよりや社協ホームページ、チラシ等で積極的にＰＲするとともに、自治会等の関係団体や事業所等にご協力をいただき、社協会員会費や愛の詩基金等の拡大に努めました。

なお、社協ホームページへのアクセス向上の取り組みとして、ホームページのリニューアルを行いました。

※事業報告および決算報告の詳細についてはホームページをご覧ください。